

令和2年度の実施状況

令和2年度の実施状況

- 令和2年度第1回減災対策協議会において、令和2年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、各機関の主な実施状況について報告する。
- 各機関の具体的な取組状況については、次ページ以降に示す。

機関名	令和2年度当初予定（主な実施予定）	令和2年度実施状況
国土交通省 浜田河川国道 事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校における防災教育の実施 ・ 住民向け防災計画作成（マイ・タイムライン）の支援 ・ 多機関連携型タイムライン運用及び検証・見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易型河川監視カメラの整備（8箇所） ・ 吉田小学校（4年生）を対象とした防災授業（降雨体験機による大雨体験、防災授業） ・ 益田市吉田地区の防災協議会へのマイ・タイムラインの作成支援（1回：水害の危険性等の学習、2回：マイ・タイム作成^{6月予定}） ・ 多機関連携型タイムラインの運用結果の検証を踏まえ、“水防団からの氾濫発生に関する情報提供”の追加や簡易版の作成を実施
松江地方気象台	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大雨警報・注意報（浸水害）、洪水警報・注意報基準の見直しを今年度実施し、今後も調査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洪水危険度分布の改善（本川の増水に起因する内水氾濫の危険度を確認可能。 ・ 洪水予報（臨時）の発表開始。 ・ 土砂災害における短時間指標による大雨特別警報の運用開始。 ・ 大雨警報（浸水害）、洪水警報等の基準見直し。 ・ 大雨特別警報の発表基準を雨を要因とする基準に一元化。 ・ 5日先までの高潮の警報級の可能性について、わかりやすいバーチャートを用いた図形式で提供。 ・ 24時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧の予報をタイムライン支援のため「5日先まで」に延長。 ・ 気象庁HPの台風情報を14か国語で提供。
島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の水防災意識の向上に資する防災教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理型水位計3基、簡易型河川監視カメラ19基を整備。 ・ 県・市町村職員向け水防研修会の実施 ・ 自主防災組織リーダー研修会の実施 ・ 新聞広報による情報発信 ・ 保育園児等を対象とした防災学習会
益田市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 益田市総合防災訓練を実施 ・ 定住外国人等を対象とした避難情報の提供 ・ 高津川水系の洪水の特徴を踏まえた防災教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂災害を想定した益田市防災訓練（新型コロナ対応版）を実施 ・ 定住外国人を対象にしたやさしい日本語での防災講座 ・ 吉田地区での防災講話（マイ・タイムライン含む）、建築士会への防災講座（ハザードマップ）、民生委員児童委員への防災講座（要配慮者への対応について）、吉田小学校での防災教育

国土交通省
浜田河川国道事務所

【概要】

令和元年度の実施状況について、各機関のソフト及びハード対策の取組を共有した。また、令和2年度の取組予定として、「住民向け防災計画作成支援(マイハザードマップ及びマイタイムラインの普及)、小学校を対象とした防災教育資料の普及、外国人への防災講座の運営支援、企業向け防災教育支援ツールの検討及び作成、排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施、多機関連携タイムラインの実施方針」について共有を行った。

さらに、昨年令和元年東日本台風を踏まえて、従前より一歩踏み込み、河川対策に加え、流域対策(集水域と氾濫域)と、ソフト対策を盛り込んだ「流域治水プロジェクト(仮称)」について情報を共有した。今後のスケジュールについては、幹事会や担当者会議により協議を行い、次回の協議会で報告する。

開催日・場所: 書面開催

【主な意見(意見照会)】

・特に意見無し。

資料1

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく
高津川流域の減災に係る取組について

令和2年度 第1回協議会
(書面会議)

高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会
(益田市、島根県、松江地方気象台、
国土交通省中国地方整備局)

(1) 令和元年度の実施状況

(2) 令和2年度の実施予定

(3) 流域治水プロジェクトについて

(4) 今後のスケジュール

令和2年度第1回高津川流域 減災対策協議会
資料

令和2年度 第1回
高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会
(書面会議)

議 事 次 第

1. 開会

2. 議事

- (1) 令和元年度の実施状況について…………… P2
- (2) 令和2年度の実施予定について…………… P25
- (3) 流域治水プロジェクトについて…………… P32
- (4) 今後のスケジュール…………… P40

3. その他

※この協議会で対象とする高津川水系とは、一級水系高津川国管理区間を示す。

令和2年度第1回高津川水系減災対策協議会
議事次第

【概要】

令和2年度の実施状況について、ソフト及びハード対策について各機関の取組を共有した。また、令和2年7月豪雨被害等を踏まえて実施した「令和2年出水期後の振り返りについての意見交換会」について、意見交換会で挙げられた意見や今後の対応方針について共有した。

さらに、減災対策協議会は、今年で目標としていた5年目を迎えることから、今後の新たな取組方針を検討し、次回の減災対策協議会で提示することを説明した。

開催日・場所：書面開催

【主な意見(意見照会)】

江津市

・これからも引き続き、防災学習等の住民への啓発活動を続けていく。

川本町

・基準観測所でわかる地先氾濫水位の目安や道路冠水発生予測図は役に立つ。
・5月に予定されている減災協は、対面方式かテレビ会議方式でお願いしたい。

美郷町

・減災対策協議会は、一堂に介して、顔が見える方が良い。

邑南町

・上流の状況を踏まえた河川水位の予想資料はわかり易かった。
・ハード整備には限界があると認識しているため、来年度の取り組みとしては、マイ・タイムラインに力を入れる予定である(町内の防災士を中心に展開する予定)。

益田市

・氾濫の定義は分かり易く、決壊や越水の意味が理解出来た。

浜田河川国道事務所

・来年度以降に、統一河川情報システムで、中電ダムについても放流量等の情報が表示される予定である。
・上流の状況を踏まえた河川水位の予想、基準観測所でわかる地先氾濫水位の目安等については、高津川でも作成中である。

令和2年度 第2回
江の川水系(下流)・高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

議事次第

日 時：書面開催

1. 開会
2. 議事：
 - (1) 令和2年度の実施状況について…………… P2
 - (2) 令和2年度出水期の振り返り…………… P45
 - (3) 今後のスケジュール…………… P55
3. その他

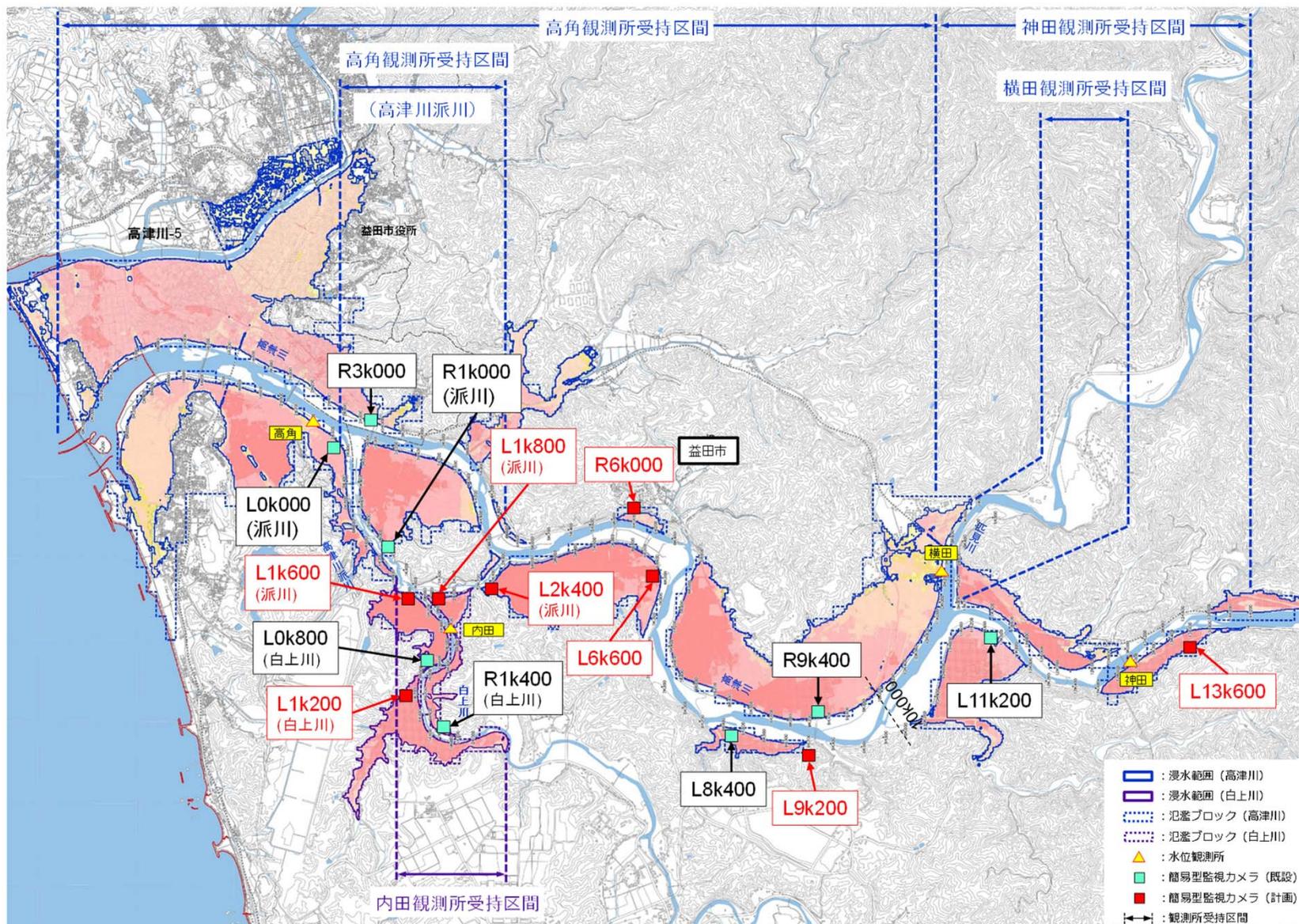
※この協議会で対象とする江の川水系(下流)とは、一級水系江の川のうち、島根県内の江の川を示す。
※この協議会で対象とする高津川とは、一級水系高津川のうち、高津川、高津川派川、匠見川、白上川の直轄管理区間を示す。

令和2年度第2回江の川水系(下流)・高津川水系
大規模氾濫時の減災対策協議会 議事次第

■洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備

【簡易型河川監視カメラの設置】

○令和2年7月豪雨による氾濫を踏まえ、8箇所を簡易型河川監視カメラを整備。



■洪水浸水想定区域内の定住外国人、観光客等を対象とした避難情報の提供

【出前講座実施：益田市人権センター】

- 益田市日本語ボランティアグループの助言を踏まえ、定住外国人向けの防災教材を作成した。
- 出前講座では、高津川及び益田川の水害履歴やハザードマップを活用し、益田市の水害危険性を把握し、参加者の居住地に対応した地図に自宅、避難場所、避難経路を記入するとともに、外国人向けの防災アプリ（Saftytips）のインストール及び機能説明、河川ライブカメラ映像の確認を行った。



＜防災講座を受ける外国人参加者＞



＜ハザードマップで自宅を確認する様子＞



＜スマートフォンで情報を確認する様子＞

- 当日のスケジュール -
 1. はじまり（開会挨拶）
 2. 防災講座
 3. ハザードマップで確認しよう
 4. 避難するタイミング
 5. おわり（まとめ）

- **どこが危険？**
ハザードマップで自宅を確認
- **どこに避難する？**
ハザードマップで避難場所や避難経路を確認
- **いつ避難する？**
避難情報等をアプリで確認



避難所を確認する様子

- コロナ対策については、**
- ・換気、検温、消毒、マスク等
 - ・**Web会議システムの活用**



（web会議システムによる講師の説明）

- 実施日及び時間：
令和3年1月17日（日）9:40～11:40
- 参加者：ベトナム人（4名）、中国人（4名）、タイ人（3名）、インドネシア人（1名）、日本人ボランティアスタッフ（4名）

- 益田市危機管理課のコメント
 - ▶ 水があふれてきたときには慌てられると思いますが、益田市や国土交通省などが「危ないですよ」という情報を出しています。そして益田市に電話で状況を聞くこともできます。
 - ▶ 水が溢れだしてから逃げるのではなく、情報を自分から得て、早く逃げてもらいたいことが一番だと思います。



■防災教育の促進:防災教育に関する支援を実施する学校を教育関係者等と連携して決定し、防災教材資料の作成と出前講座の実施 **【防災授業(出前講座)実施:吉田小学校】**

- 教員の意向に沿い、小学4年生を対象とした授業に活用できる防災教材を作成し提供した。
- 出前講座では、降雨体験機による大雨体験を行ったあとで、昭和58年の吉田小学校の浸水写真や令和2年7月豪雨で氾濫した江の川の写真や、堤防決壊の映像等により、水害のおそろしさを伝えた。また、クイズにより大雨のときに自分でできることを考え、自宅で親と避難先や気象情報の入手の確認を行った。



<降雨体験機の実施状況>



<職員による出前講座の実施状況>



<質問やクイズによる生徒の発言状況>

■ 作成した教材

■ 昭和58年に吉田小学校も浸水被害が起きたことを学ぶ



■ 高津川と益田川の流域を学ぶ



■ 小学校と自宅周辺の水害危険性を学び、避難先を考える



■ 親と一緒に考える宿題シート



■ 防災教育に関する協議

- 令和2年10月6日 第1回協議 授業内容、今後のスケジュール(授業資料は、メール等により適宜確認)
- 令和2年9月25日 第2回協議 授業資料の最終確認
- 令和2年11月9日・10日 降雨体験機と防災授業(出前講座2コマ)

■ 降雨体験機の感想

- ・大雨の体験をして少し怖かったけど、あの雨の量が5時間くらい降り続けたら、ぞっとします。100mmはめちゃくちゃ激しかった。
- ・もし、こんな雨が降ったら、洪水になる前に避難所や、家が高い所にある友達の家へすぐ避難しようと思った。

■ 防災授業の感想

- ・雨はあまり気にしたことがなかったです。洪水は避難しないといけないし、避難の用意もしていた方がいい。あと、スマホやテレビで確認したほうがいいことを知りました。
- ・雨は(降っても)水溜まりになるだけだと思ったけど、降り続けると洪水になると知った。

■ 地域防災の促進：マイ・タイムラインの作成を支援する地区を益田市と連携して決定し、地域の水害危険性とマイ・タイムライン作成等の防災出前講座の実施 【防災出前講座の実施：吉田地区】

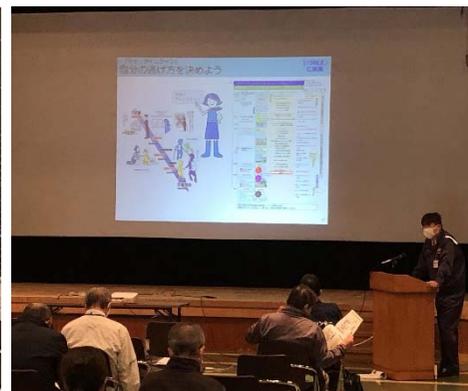
- 益田市吉田地区の防災協議会における防災出前講座として、高津川及び益田川の水害危険性等を学習し、地域の自治会長や防災リーダーを対象とした第1回講習会（座学）を実施した。
- 第2回講習会はワークショップ形式によるマイ・タイムライン作成講習会を実施予定（R3.6予定）である。



< 防災協議会による開会挨拶 >



< 出前講座の実施状況 >



< マイ・タイムラインラインの説明 >



< 会場全体の様子 >

■ 作成した教材

- 吉田地区のハザードマップ
 - STEP 1 ハザードマップで自宅を見つけてみましょう。
- 浸水深の説明資料
- 段階的に発表される警戒レベル等の説明資料
- 防災情報の入手方法

■ 開催案内チラシ

島根県益田市吉田地区

防災講座

みんなで助ける、みんなが助かる

今年7月に江の川は氾濫したけど、高津川と益田川は大雨の時は大丈夫？

吉田地区における「逃げ遅れゼロ」を目指すために、水害に対する知識・知恵を共有する防災講座を行います。

11/21 (土) 10:00~

益田市立市民学習センター 多目的ホール

講師 沼田 浩一

協賛 島根県防災協会、島根県防災センター、島根県防災協会、島根県防災センター、島根県防災協会、島根県防災センター

お問い合わせ先 島根県防災協会 総務課 沼田 浩一 氏
TEL 0853-22-3122

- 実施日及び時間：令和2年11月21日（土）10:00～11:00
- 参加者：約40名
- 当日のスケジュール：10:00 開会
10:05 防災講座
10:55 閉会

【第2回講習会】

- 令和3年6月予定
- 『逃げキッド』を活用したマイ・タイムライン作成講習会

■ 第2回講習会終了後

➢ 参加者（自治会長や防災リーダー）により、地域住民向けのマイ・タイムライン作成講習会等による作成促進

- 令和2年度の出水期におけるタイムラインの運用状況や関係機関の活用状況等を踏まえ、タイムラインの見直しを行うために、関係機関へアンケート調査を実施。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からタイムライン検討会は、書面開催としており、現在、アンケート結果を踏まえた、修正方針について、関係機関へ意見照会を実施。

■タイムラインの運用状況と課題

➤ 令和2年7月豪雨では江の川で氾濫が発生し、タイムライン運用ではレベル5以降まで移行し、**関係機関へレベル移行のメール配信を実施**した。但し、水位上昇が早く、高津川でも同時にメール配信を実施していることもあり、**一時、配信が遅延**。

■関係機関の活用状況と課題（令和2年出水期の振り返りアンケート）

- ①19機関が出水時にタイムラインを活用した。
- ②一方で、**令和2年7月豪雨のような洪水では、行動項目の多いタイムライン詳細版での対応は困難(煩雑)である(63%)**。

■課題への対応例

【タイムライン運用の課題への対応】

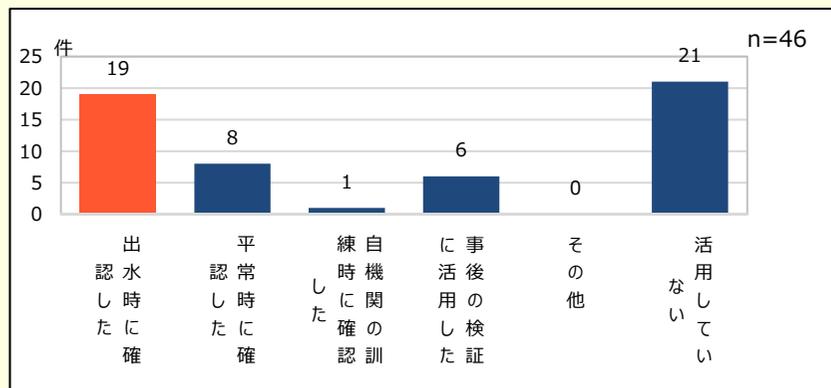
メール配信に頼らず関係機関がタイムラインの状況を確認できるようなwebサイト等の仕組みについても構築。
 (※タイムラインに関する情報を収集・確認できるwebサイト等があれば活用したいとの意見もアンケートで多く挙げられた)

【タイムライン活用の課題への対応】

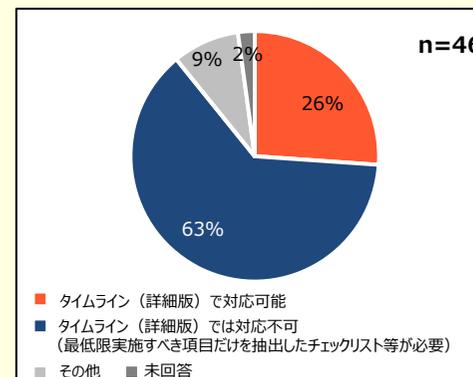
タイムライン詳細版のみでは困難（煩雑）との意見から、**最低限実施すべき項目だけを抽出**した分かりやすい簡易版等を作成。

＜振り返りアンケート調査結果例＞

①タイムラインの活用状況を教えてください（複数回答）。



②令和2年7月豪雨のようなタイムラインレベルの移行（水位上昇）が速い洪水で、タイムライン詳細版で行動確認は可能でしたか（活用していない方は想定で回答）。



松江地方气象台

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

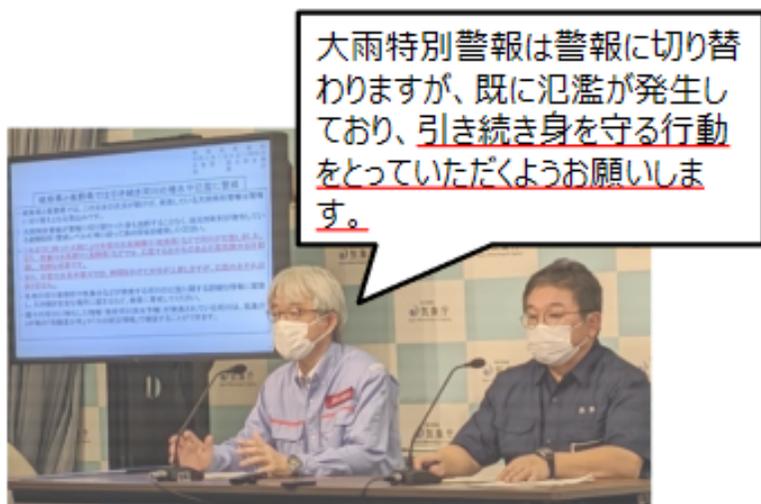
【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

大雨特別警報の警報等への切替後の河川氾濫への注意喚起

【令和2年出水期より実施】

- 令和元年東日本台風における検証を踏まえ、今年度より大雨特別警報解除後の注意喚起のため、水管理・国土保全局と気象庁の合同会見を実施するとともに、河川氾濫に関する情報を発表することとした。
- 令和2年7月豪雨においては、熊本県等に発表されていた大雨特別警報の大雨警報への切替に先立って、合同記者会見を計3回開催。また、今後の水位上昇の見込みなど河川氾濫に関する情報を発表し、引き続き警戒が必要であることの注意喚起を行った。

水管理・国土保全局と気象庁との合同記者会見



大雨特別警報は警報に切り替わりますが、既に氾濫が発生しており、引き続き身を守る行動をとっていただくようお願いします。

河川氾濫に関する情報（球磨川の例）

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川では今後も氾濫に警戒が必要です。

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川の洪水はこれからも警戒が必要です。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

球磨川では、**氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報)**を発表中です。

河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
球磨川	球磨 (熊本県八代市)	氾濫発生中	水位上昇中。まもなく最高水位
球磨川	大野 (熊本県球磨郡球磨村)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	石川 (熊本県球磨郡球磨村)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	入吉 (熊本県入吉市)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	一武 (熊本県球磨郡球磨村)	氾濫危険水位超過	水位は横ばい
球磨川	多良木 (球磨郡多良木町)	氾濫危険水位超過	水位は横ばい

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

大雨特別警報の発表指標の改善（変更点）

【令和2年7月30日より全国的に運用開始】

発表指標		50年に一度の値 <5kmメッシュ>			危険度分布の技術（指数） <1kmメッシュ>				
		48時間 降水量	3時間 降水量	土壌 雨量 指数	最大危険度 （濃い紫）		新たな発表指標における 基準値に到達した格子		
					土砂 災害	浸水害 又は 洪水	土砂 災害	浸水害 又は 洪水	
これまで	長時間指標	土砂災害	50格子	－	50格子	出現	－	－	－
		浸水害	50格子	－	50格子	－	出現	－	－
	短時間指標	土砂災害	－	10格子	10格子	出現	－	－	－
		浸水害	－	10格子	10格子	－	出現	－	－

短時間指標（土砂災害）を改善

改善後	長時間指標	土砂災害	50格子	－	50格子	出現	－	－	－
		浸水害	50格子	－	50格子	－	出現	－	－
	短時間指標	土砂災害	－	－	－	－	－	10格子	－
		浸水害	－	10格子	10格子	－	出現	－	－

新たな短時間指標（土砂災害）

過去の多大な被害をもたらした現象に相当する土壌雨量指数の基準値を地域毎に設定し、この基準値以上となる1km格子が概ね10個以上まとまって出現すると予想され、かつ、さらに雨が降り続けると予想される場合、その格子が出現している市町村等に大雨特別警報（土砂災害）を発表。

※令和2年12月9日時点で43都道府県において新たな短時間指標（土砂災害）を運用中。その他の地域では、新たな短時間指標（土砂災害）の運用を開始するまでの期間は従来の指標を運用。

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

「危険度分布」等の発表基準の改善

【松江地方気象台では、令和2年8月6日より運用開始】

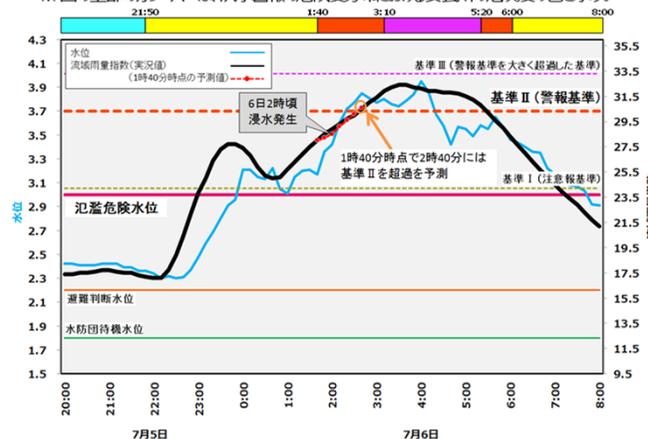
- 最新の災害データを用いて基準値の妥当性を確認し、基準の見直しを実施。
- これにより、住民の自主的な避難判断や、市町村の避難勧告等の発令判断がより適時・的確にできるよう、警報・注意報や危険度分布の精度が改善。
- 今後も全国の気象台において、継続的に基準値の見直しを実施する予定。

令和2年に基準値を見直した市町村数（全国）

大雨警報（土砂災害）、大雨注意報、大雨警報（土砂災害）の危険度分布の基準値	7県181市町村
大雨警報（浸水害）、大雨注意報、大雨警報（浸水害）の危険度分布の基準値	29道府県119市町村
洪水警報、洪水注意報、洪水警報の危険度分布の基準値	47都道府県 1,657市区町村 (7,736河川※)

流域雨量指数と河川水位（栃ノ木）の時系列

※ 図の上部のカラーバーは、洪水警報の危険度分布における安芸川の危険度の色を示す。



※主要な河川の変更数

○先進事例紹介
「水位データも活用した
洪水警報の基準値の見直し」
～高知県安芸市安芸川の例～

※島根県内河川における右記手法の導入は未定です。

地元関係機関との連携のもと、水位データも活用した新たな設定方法による洪水警報基準の見直しを実施。

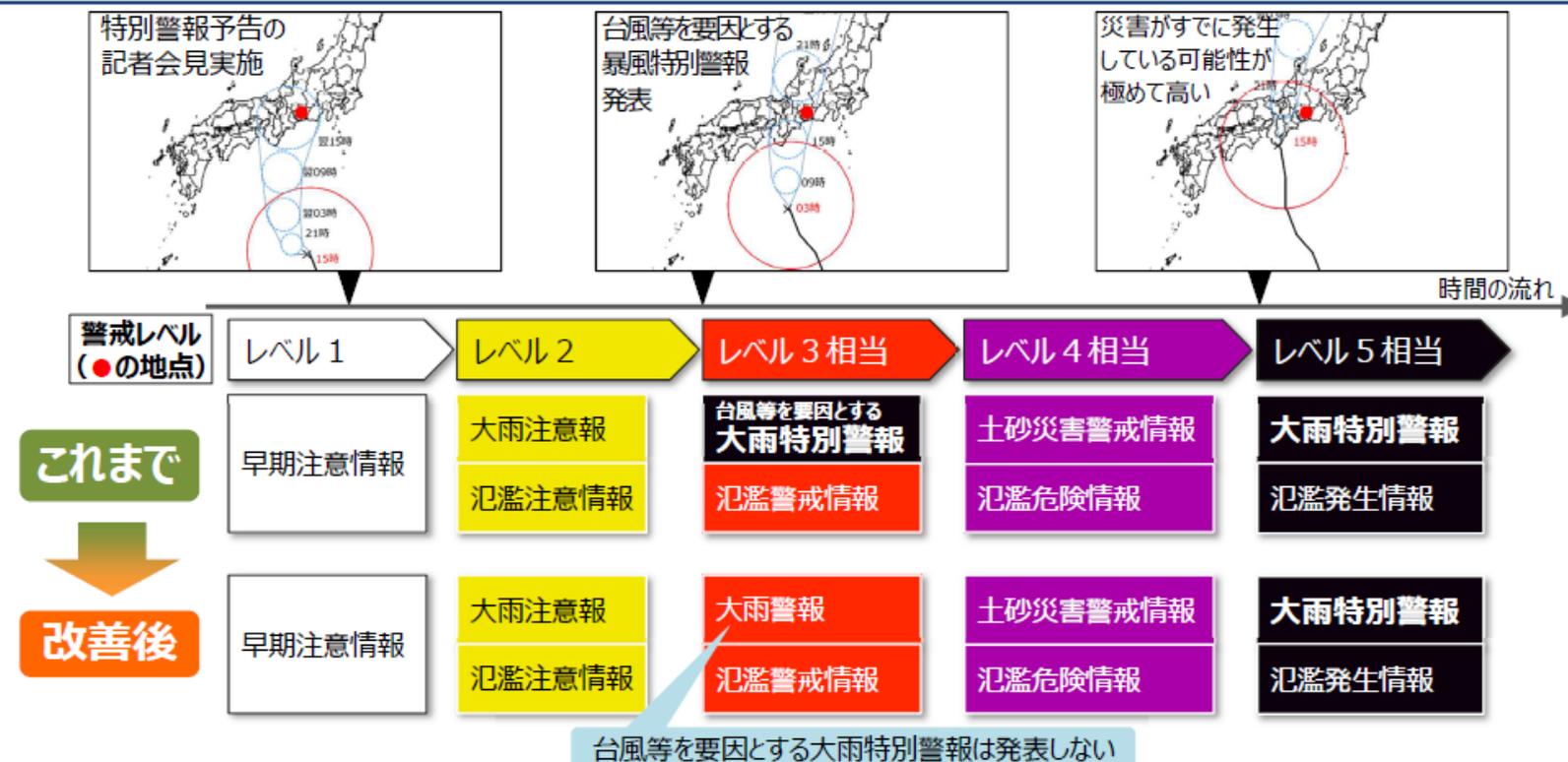
■ 避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

大雨特別警報と警戒レベルの関係の改善

【令和2年8月24日より実施】

- ▶ 大雨特別警報のうち、台風等を要因とするもの※を見直し、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い（警戒レベル5相当の）雨を要因とするもののみとする。※台風等の中心気圧や最大風速の発表基準によるもの
- ▶ 伊勢湾台風級の台風が上陸するおそれがある場合には、早い段階から記者会見等を開催するとともに、24時間程度前に開催する記者会見において、台風の接近時の暴風や大雨等による災害に対して極めて嚴重な警戒が必要であることを呼びかける。



※気象業務法第十三条の二第一項の規定に基づき、特別警報の基準（平成二十五年気象庁告示第七号）の一部を改正

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

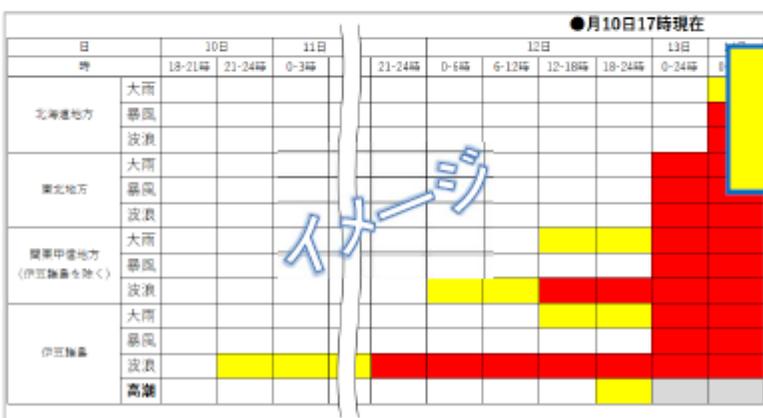
数日先の高潮の警報級の可能性をバーチャートで提供

【令和2年8月26日開始】

- 高潮災害への心構えを早め高められるよう、5日先までの高潮の警報級の可能性を用いてバーチャートを延長して提供。

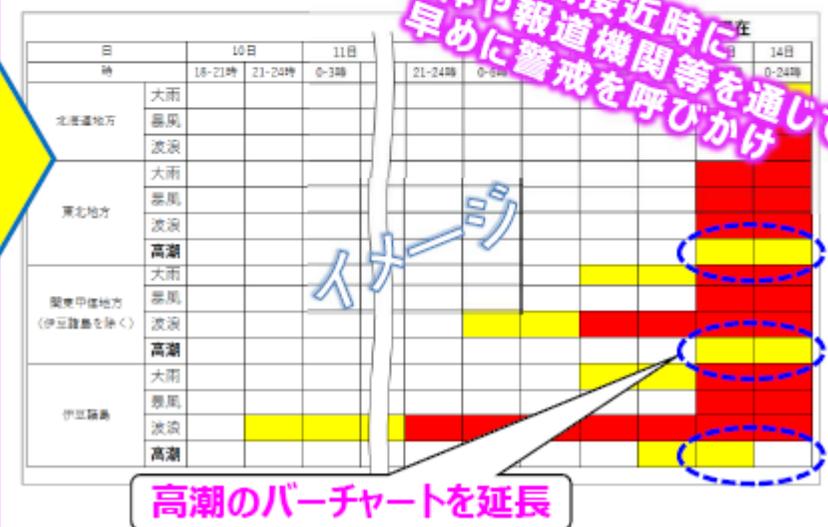
現状

✓ 日本付近に台風の接近・通過が予想される場合に限り、高潮災害への警戒呼びかけるため、図形式の気象情報の中で明後日までの注意報級、警報級のバーチャートを提供。



改善後

✓ 日本付近に台風の接近・通過が予想される場合に限り、5日先までの高潮の警報級の可能性を、図形式の気象情報等により、バーチャートで提供。



※ また、高潮については、現在は早期注意情報を提供していないことから、台風接近時に限定せずに情報提供ができるよう引き続き技術開発を進め、高潮の早期注意情報の提供に向けた検討を継続する。

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

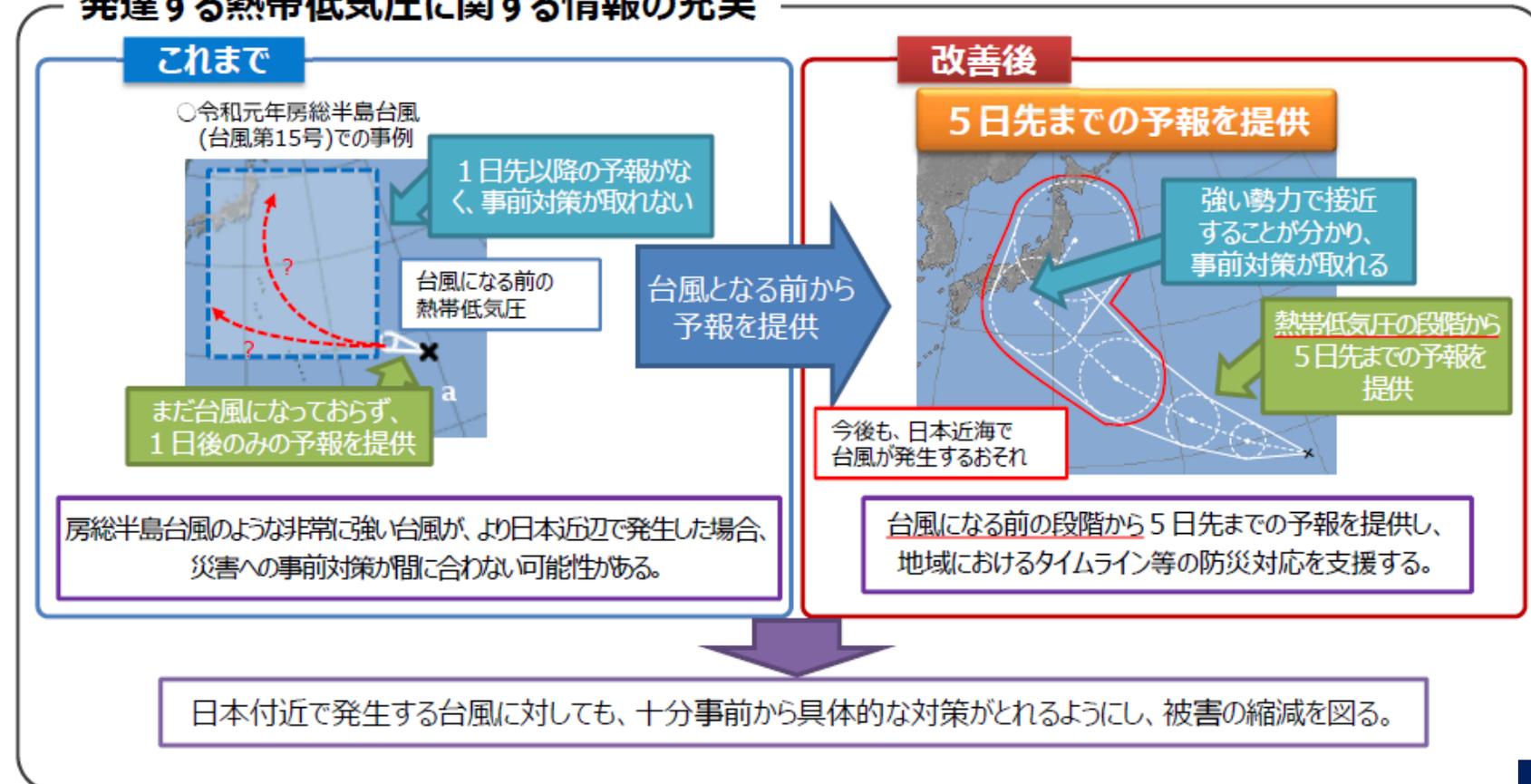
【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

台風が発達する熱帯低気圧の予報を延長しました

【令和2年9月9日より実施】

- 台風接近時の防災行動計画（タイムライン）に沿った対応を効果的に支援するため、24 時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧の予報を、これまでの1日先までから5日先までに延長。

発達する熱帯低気圧に関する情報の充実



■ 避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

気象庁ホームページの多言語化

【令和2年9月16日より実施】

➤ 訪日外国人等への情報発信の強化として、内閣府、総務省、観光庁と連携し、気象庁ホームページの台風情報を、他の防災気象情報（※）に続き14か国語で提供開始しました。

多言語による防災気象情報の例（気象庁ホームページ）

台風情報
タイ語の例

ข้อมูลพายุไต้ฝุ่น

หน้าหลัก > ข้อมูลพายุไต้ฝุ่น > ข้อมูลโดยละเอียด

ข้อมูลพายุไต้ฝุ่น : ข้อมูลโดยละเอียด

T2001 (DAMREY)

ประกาศเมื่อ 2020/09/30, 20:50

令和元年10月09日12時 台風第19号

บริเวณพื้นที่ลุ่มรับน้ำที่ความสูง 50 เมตรขึ้นไป

บริเวณพื้นที่ลุ่มรับน้ำที่ความสูง 30 เมตรขึ้นไป

All rights reserved. Copyright © 2019 Japan Meteorological Agency

- [01日 12時] หมายเหตุ วันที่ 1 เวลา 12.00 น.
- ศูนย์กลางของไต้ฝุ่นอาจไม่เคลื่อนที่ตามเส้นแนวศูนย์กลางของบริเวณวงกลมขยายกรณีเสมอไป
- บริเวณวงกลมขยายเป็นการแสดงขอบเขตที่มีโอกาส 70% ที่ศูนย์กลางของไต้ฝุ่นจะเคลื่อนที่ผ่าน ไม่ได้แสดงการเปลี่ยนแปลงขนาดของไต้ฝุ่น
- เมื่อไต้ฝุ่นเปลี่ยนเป็นพายุหมุนเขตร้อนหรือพายุหมุนนอกเขตร้อน แต่อาจเกิดสภาวะการรุนแรง เช่น ฝนตกหนัก และลมแรง คลื่นสูง ฯลฯ ต่อไปได้ สถานีอุตุนิยมวิทยาในและที่ล้อมรอบภาคพื้นทวีป ประชาชนที่อาศัย ข้อมูลสภาพอากาศ ฯลฯ ที่เกี่ยวกับสถานการณ์และลมแรง คลื่นสูง ฯลฯ และอื่น ๆ ต้องให้คำเตือนด้วยและควรอยู่ ปลอดภัยตามข้อมูลล่าสุด

各言語のトップページ
インドネシア語の例

Peringatan dan pemberitahuan cuaca

Prakiraan cuaca

gerakan awan hujan

penyebaran peringatan : tanah longsor

penyebaran peringatan : air masuk rumah

penyebaran peringatan : banjir

Peringatan dan pemberitahuan tsunami

informasi gempa bumi

Peringatan dan perkiraan erupsi

気象警報・注意報
ベトナム語の例

Cảnh báo - thông tin lưu ý khí tượng (Vietnam)

Chỉnh lại

Tên cơ quan loại

Địa phương

Vùng Hokkaido(Miền Tây Nam)

Tỉnh thành trung ương (To-do-fu-ken)

Thông báo lúc 22:30 ngày 08 tháng 10 năm 2019

Cảnh báo đặc biệt Cảnh báo Thông tin lưu ý Không có công bố

対応言語一覧

日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語
インドネシア語、ベトナム語、タガログ語、タイ語、ネパール語
クメール語、ビルマ語、モンゴル語

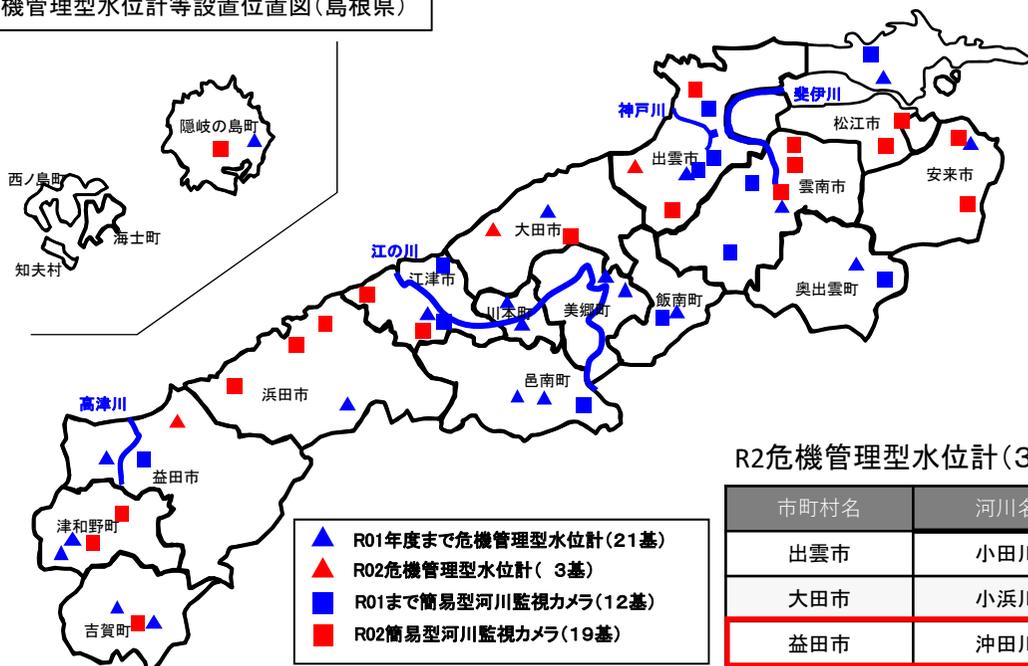
※ 気象警報等、危険度分布、雨雲の動き、天気予報、週間天気予報、高温注意情報、地震情報、津波警報等、噴火警報等

島根県

■洪水に対しリスクの高い箇所を監視する危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの整備

○R2年度の取組みとして、危機管理型水位計3基、簡易型河川監視カメラ19基を整備（R3.3運用）。また、過年度作成した島根県水防情報システムに関するチラシを出前講座等で継続配布。

危機管理型水位計等設置位置図(島根県)



R2河川監視カメラ(19基)

市町村名	河川名	市町村名	河川名	市町村名	河川名
松江市	意宇川(出雲郷)	出雲市	堀川(流下橋)	浜田市	三隅川(三隅)
松江市	意宇川(神納橋)	出雲市	神戸川(仁江)	津和野町	高津川(旭橋)
安来市	伯太川(安来大橋)	大田市	静間川(川合橋)	津和野町	津和野川(町田)
安来市	伯太川(弘鶴橋)	江津市	敬川(敬川橋)	吉賀町	高津川(塔尾橋)
雲南市	赤川(町上)	江津市	八戸川(江尾)	隠岐の島町	八尾川(中条)
雲南市	久野川(日の出橋)	浜田市	下府川(府中橋)	これら以外に、既設カメラ更新(17箇所)	
雲南市	斐伊川(日登)	浜田市	浜田川(浜田大橋)		

危機管理型水位計設置例



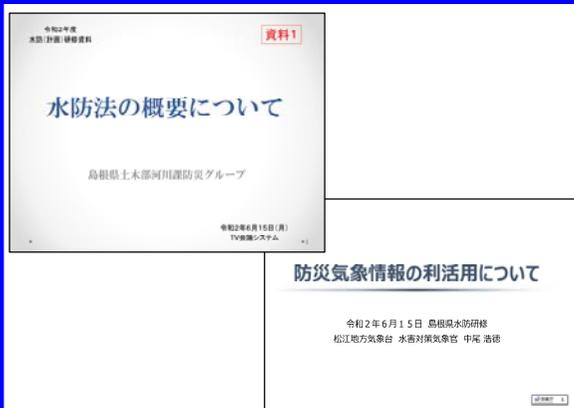
河川監視カメラ(夜間映像)



■地域の洪水特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実

○関係機関と連携して水害(防災)教育の普及啓発に務めた。

県・市町村職員向け
水防研修会の実施(島根県・松江地方気象台)



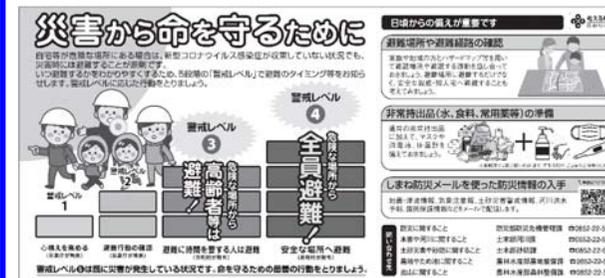
日時 令和2年6月30日(火) 9:00~12:00
場所 県庁南庁舎災害対策室ほか(Web形式)
対象 県職員 約20名
内容 水防法・島根県水防計画の概要 島根県河川課
防災気象情報の利活用 松江地方気象台

自主防災組織リーダー研修会の実施
(島根県)



日時 令和2年11月28日(土) 9:30~17:00
29日(日) 10:00~16:30
場所 益田市人権センター
対象 自主防災組織構成員、自治会関係者 約45名
内容 防災気象情報の利活用について 松江地方気象台
ワークショップ、まちあるき・災害図上訓練ほか

新聞広報による情報発信
考える県政の掲載(島根県)



日時 令和2年6月20日(土)
内容 「警戒レベル」と避難のタイミングについて
日頃からの災害の備えについて
島根県が配信する各種防災情報の入手先について

中学生を対象とした防災学習会(島根県)



日時 令和2年6月3日(水)、6月10日(水)、7月2日(木)、9月9日(水)、9月28日(月)
場所 桜江中学校、八戸川河川災害関連事業現場
対象 桜江中学校1年生 約20名
内容 川の役割・仕組み、川の歴史、浸水害等から身を守る(防災)、それらを踏まえた治水事業

保育園児等を対象とした防災学習会(島根県)



日時 ①令和2年8月26日(水)、②11月27日(金)
場所 ①平田保育園、②みなみ保育園
対象 ①3~5歳児約140名、②3~5歳児約90名
内容 ①②紙芝居による避難の重要性周知・避難する時の合言葉

益田市

(目的)

災害対策基本法第48条に基づき、防災関係機関の連携を強化し、地域住民及び民間団体の協力、参加を得て、より実践的な防災訓練を実施することにより、災害時における迅速、的確な対応が出来る体制の確立を目指すとともに、住民の防災活動の重要性等、防災意識の高揚を図り、防災体制の万全を期することを目的とする。

- ・実施日時 令和2年10月27日(火) 9:30~11:00
- ・実施場所 益田市立市民学習センター
- ・訓練想定 大雨による高津川の洪水
- ・参加機関 益田市、益田広域消防本部、益田警察署、公民館職員
- ・実施内容 新型コロナウイルス感染症対策として、避難所設営を行い、注意点等を実地訓練で学ぶ。併せて段ボールパーティション等“新しい生活様式”を踏まえた避難所設営と感染症対策資材の確認を行い、各種災害に備える。
- ・参加人数 53名

※今年度の防災訓練については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため規模を縮小して実施した。



段ボールパーティション組立



段ボールベッド組立



折畳み式簡易ベッド組立



1区画完成



避難者の消毒。検温



避難者の情報確認



体調不良者の通報



体調不良者の搬送

■定住外国人を対象とした防災講座と防災情報ツールの提供

【定住外国人を対象にしたやさしい日本語での防災講座】

- 益田市で外国人を対象とした防災講座を実施した。
- 自分の家から近い避難所を確認し、避難経路や避難するための情報を地図やスマートフォンで確認した。
- 今回の防災講座で学んだことを、今後の益田市での生活に役立ててもらおう



浜田河川国道事務所からの防災講座



ハザードマップの確認



自宅から避難所までのルートを記入



外国人向け防災アプリのインストール実施

○役割分担

- ・浜田河川国道事務所：説明資料、当日の説明・運営
- ・益田日本語ボランティアグループともがき：参加者への周知・案内
- ・益田市：事前調整、会場予約、当日の運営

○今後に向けて

防災講座で使用した地図は、参加された皆さんに持って帰ってもらい、実際に災害が起こった際に避難所に避難するために活用してもらおうこととした。外国人向けの防災アプリについても積極的に活用してもらおうようお願いした。

日 時 6月20日、11月21日
 場 所 吉田公民館
 内 容 防災学習会

吉田地区防災協議会で益田市の防災に関する取り組みを講話した。防災ハザードマップの活用や災害発生時の避難の方法など活発な意見交換が行われた。

11月21日は浜田河川国道事務所が講師となって「マイ・タイムライン」の説明を含めた防災講座を実施した。

参加者 各30人程度



会場全体の様子

日 時 7月22日
 場 所 島根県建築士会益田支部
 内 容 防災講座（防災ハザードマップ）

益田支部女性委員会の主催で防災について学ぶため、防災ハザードマップを中心に講話した。建築士として防災意識と知識を高めるきっかけとしてもらった。

参加者 12人

日 時 9月15日
 場 所 高津地区民生委員児童委員協議会
 内 容 防災講座

高津川沿い高津地区の民生委員児童委員に対して防災について講話した。要配慮者への対応について学んでもらった。

参加者 20人

日 時 11月17日
 場 所 吉田小学校
 内 容 防災講習

昭和58年の水害の映像を見てもらい、防災ハザードマップの説明を行った。その後、防災備蓄食を試食し、水害に備えて家族で話し合うことが大切ということ学んでもらった。

参加者 84人（4年生）



58年の水害映像を視聴



防災備蓄食の試食

ハザードマップの学習

○概ね5年で実施する取組に対する実施状況

令和3年1月27日時点

具体的な取組の柱		(上段)予定時期 (下段)実施状況					実施内容・実施予定内容				
事項		年度	益田市		島根県		気象台		国交省		
具体的取組			H28	H29	H30	R1	R2				
① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組											
■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策の推進											
・高津川改修	U	予定	○	○	○	○	○	R2 当初計画			高津川改修実施
		実施	●	●							高津川改修実施
■ 避難行動・水防活動に資する基盤等の整備											
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上	D,M,N	予定				○		R2 当初計画			大雨警報・注意報(浸水)、洪水警報・注意報基準の継続調査に基づく見直しを実施
		実施	●	●	一部						<ul style="list-style-type: none"> 洪水危険度分布において、本川の増水に起因する内水氾濫の危険度も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示する改善を行い、令和2年5月28日から運用開始。 大雨特別警報から大雨警報へ切り替え後、河川水位上昇や氾濫への警戒を呼び掛ける府県気象情報(洪水予報(臨時))を、河川管理者と共同して令和2年7月4日から発表開始。 新たな発表指標(土砂災害における短時間指標)を用いた、大雨特別警報の全国的な運用を令和2年7月30日から開始。 大雨警報(浸水害)、洪水警報等の基準について、新たな災害事例を追加した評価・検証による見直しを行い、令和2年8月6日から運用開始。 大雨特別警報の発表基準を、警戒レベルとの関連が分かりやすいよう、雨を要因とする基準に一元化し、令和2年8月24日から運用開始。 5日先までの高潮の警報級の可能性について、わかりやすいバーチャートを用いた図形式の気象情報等により、令和2年8月26日から提供開始。 24時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧の予報を、タイムライン支援のため、これまでの「1日先まで」から「5日先まで」に延長し、令和2年9月9日から運用開始。 気象庁ホームページの台風情報を、14か国語で9月16日から提供開始。
・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	U	予定			○	○	○	R2 当初計画			整備済み
		実施									整備済み
■ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等											
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表	A,C	予定	○	○	○			R2 当初計画		H30完	H28完
		実施	●	●						H30完	H28完
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定された家屋倒壊等氾濫想定区域に基づく避難計画の見直し	E,F,G,L	予定			○	○	○	R2 当初計画	ハザードマップを活用し、地域の避難計画等の修正又は作成を進める		
		実施							ハザードマップを活用し、地区等で防災に対する講演会等に参加した。		
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等を発令する範囲の見直し	C,E,F,G	予定			○			R2 当初計画	予定なし		
		実施							-		
・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供	J	予定		○	○	○	○	R2 当初計画	継続して避難確保計画策定支援を行う		
		予定		●					避難計画作成様式を市ホームページに掲載し、計画策定を促進している		
・夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討	K	予定			○	○	○	R2 当初計画	躊躇なく避難勧告等の発令できるよう、発令基準や災害時動員体制を再確認する。		
		実施							躊躇なく避難勧告等の発令できるよう、発令基準や災害時動員体制を再確認した。		

○概ね5年で実施する取組に対する実施状況

令和3年1月27日時点

具体的な取組の柱		(上段)予定時期 (下段)実施状況						実施内容・実施予定内容										
												事項		年度	益田市	島根県	気象台	国交省
												具体的取組						
・高津川の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	F,H	予定		○	○	○	○	R2 当初計画	協議会の一員として開催に協力する	協議会の一員として開催に協力する	講習会への参加	企業における防災講座の実施						
		実施		● 一部					新型コロナウイルス感染症対策のため国土交通省のみで実施	未実施	未実施(講習会及び訓練参加の依頼がなかった)	未実施						
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付	A,E, F,G, L	予定					○	R2 当初計画	令和元年度全戸配布済									
		実施					●		完了									
■多様な防災活動を含むタイムラインの作成																		
・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの拡充	B	予定					○	○	○	R2 当初計画	協議会の一員として拡充に協力する	協議会の一員として拡充に協力する	水害タイムラインの確認・調整 水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う。	多機関連携型タイムラインの運用及び検証・見直し				
		実施									高津川水害タイムラインの活用検討中	協議会の一員として拡充に協力	高津川タイムラインにおいて、拡充された洪水予報等、新たな防災気象情報の追加を助言した	多機関連携型タイムラインの運用及び検証・見直しを行った。				
・避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合防災訓練等の実施	B	予定		○	○	○	○	R2 当初計画	益田市総合防災訓練を実施する	協議会の一員として開催に協力する	益田市の防災訓練シナリオへの助言	風水害対策訓練で実施						
		実施		● 一部						10月27日大雨による土砂災害を想定した益田市防災訓練(新型コロナ対応版)を実施した	情報伝達訓練の実施(5.12)	未実施(訓練参加の依頼がなかった)	風水害対策訓練で実施					
■防災教育や防災知識の普及																		
・高津川において、堤防の越水時や決壊時における流水の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開	A,B, F	予定		○				R2 当初計画				公開するために関係機関と調整を行う。						
		実施		●								未実施						
☆ H28 ・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知	H,I, M, S	予定	○	○	○	○	○	R2 当初計画				水防連絡会等にて周知(予定)						
		実施	●	●								水防連絡会等にて周知						
☆ H28 ・小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実	H	予定		○	○	○	○	R2 当初計画	出前講座等の実施	協議会の一員として防災教育の普及・充実に協力する	出前講座等	吉田小学校については、関係者と調整の上、防災教育を実施。(授業は2学期の予定) 吉田小学校以外についても、支援する。						
		実施	● 一部	● 一部						11月24日吉田小学校で防災講座を実施した	未実施	未実施(講師派遣の依頼がなかった)	11月9・10に吉田小学校において、防災出前講座を実施					
・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施	B,H,I, M	予定		○	○	○	○	R2 当初計画	協議会の一員として開催に協力する	協議会の一員として開催に協力する	出前講座等	住民向け防災計画作成支援(マイ・ハザードマップ及びマイ・タイムラインの普及)の実施						
		実施		● 一部						未実施(実施の際は協議会の一員として協力する)	自主防災組織リーダー研修会(11.28~29) 防災士養成研修(2.13~14開催予定)	未実施(講師派遣の依頼がなかった)	1月30日に益田市吉田地区において、マイタイムライン講習会実施予定					
☆ H29 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	I,M	予定		○				R2 当初計画	H29完(国交省により益田市で実施された)			H29完						
		実施		●														

○概ね5年で実施する取組に対する実施状況

令和3年1月27日時点

具体的な取組の柱		(上段)予定時期 (下段)実施状況					実施内容・実施予定内容				
事項		年度	益田市		島根県		気象台		国交省		
具体的取組			H28	H29	H30	R1	R2				
③浸水を一日も早く解消するための排水対策											
■排水活動に資する基盤等の整備											
・高津川改修(再掲)	U	予定	○	○	○	○	○	R2 当初計画			高津川改修
		実施	●	●							高津川改修実施
・樋門等の修繕計画を作成し、計画的に予算を確保し修繕を実施	R	予定		○	○	○	○	R2 当初計画	修繕実施中		
		実施							南田、内田排水機場の修繕実施中		
・樋門の無動力化の推進(再掲)	U	予定			○	○	○	R2 当初計画			順次整備
		実施									高津川において2箇所実施
■排水作業準備計画(案)の作成及び排水訓練の実施											
・排水施設の情報共有、排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水作業準備計画(案)の作成	S	予定			○	○		R2 当初計画	協議会の一員として作成に協力する		訓練または災害対応後のふりかえり(検証)を通じて、課題を抽出し、排水作業準備計画の見直し
		実施							未実施		
・排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	S	予定					○	R2 当初計画	-		出水期を目的に災害対策用機械を用いた排水訓練を実施予定
		実施							-		排水ポンプ車を用いた排水訓練を実施